

KOBELCO

CK80UR

2.9トン吊り小型クローラクレーン

現場で実用的な小型クローラクレーン

地下自動車道路や地下鉄、共同溝などのインフラ工事、ビル地下部の土留め工事、高架橋下工事など、都市部での活躍が際立つ小型クローラクレーン。都市現場特有の空間的・時間的制約をクリアすることが求められます。

そこでコベルコは“現場で確実にチカラとなれるクレーン”をイメージし、新たなモデルを開発、それがCK80URです。4.9t吊りに匹敵するクレーン能力の維持と更なる小型化を達成。また、数値化しにくい安全性、信頼性、メンテナンス性、環境性も重点的に改善しました。新しいCKシリーズ、最新鋭のKOBELCO小型クローラクレーンです。

実用域で大きな吊り能力

- 作業頻度が高い作業半径5～10mでの吊り上げ能力を重視し、4.9tクラスと同等の吊り上げ能力を実現。
- 最大作業半径時の定格総荷重 **510kg × 10.47m**

安全装置の充実

- 過負荷防止装置（自動停止）、過巻防止装置（自動停止）、高さ制限装置、過負荷外部表示灯（三色灯）、旋回フラッシュなどの安全装置を標準装備。

信頼性、メンテナンス性

- 接触による損傷・切断防止のため長さ検出用コードをブームに内蔵。
 - 大径かつワイドドラムを採用し、運転席からの視認性が大幅にアップした大型前置きウインチ。（特許取得済み）
- また、地上からのワイヤー交換も容易になっています。
- 接触による損傷を防止するブーム下面通しワイヤー。
 - 伸縮用シーブはブーム内蔵のため、接触による破損の心配がありません。
 - 輸送、走行時にフックの揺れを防止するフックイン機構を採用。

コベルコ独創のエンジン冷却システム

iNDRを搭載

エンジン吸気口から排気口までを1本のダクトに見立て、その内部にエンジンや冷却機器を配置した独自構造で、冷却性能と騒音低減に効果を発揮します。



- ラジエータなど冷却機器の日常清掃を不要に。
- 冷却機器を目詰まりさせずオーバーヒートを抑制。

最適なクレーン操作

- クレーン専用の油圧システムにより複合操作がスムーズで荷振れ止め操作が容易。
- CK90URで好評のフットアクセルを標準装備。

優れた狭所作業性

- コンパクトな車体寸法と最適なブーム配置により、狭小現場で抜群の作業性を発揮。
- 全長 **4,860mm**

オフロード法2014年基準値に適合

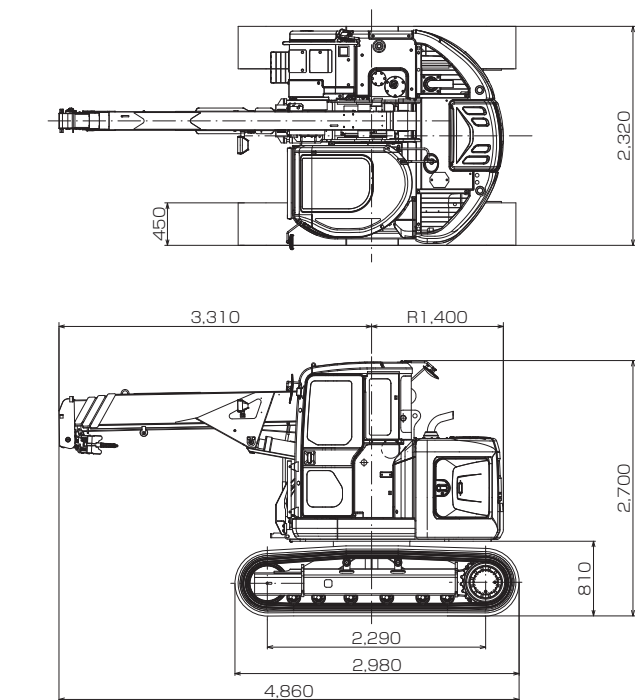
- 排ガス後処理装置を装備した最新型エンジンを搭載。PM（主成分すす）及びNOx（窒素酸化物）の排出を大幅に削減し、最新の排ガス規制に対応。



（申請中）



■外形寸法 (単位:mm)



■主な仕様

機種名		CK80UR
本体型式		CK80UR-3
車名及び型式		コベルコ YDN-YA04/YK04/WU02
最大吊り上げ能力	t×m	2.93×3.0 (走行吊り:1.46×3.0)
最大作業半径	kg×m	510/10.47
最大地上揚程 (4本掛け)	m	11.7
最大地下揚程 (4本掛け)	m	16.0
ブーム形式		箱型4段式 (2段単独、3-4段同時伸縮)
ブーム長さ	m	3.56~10.80
無負荷ロープ速度	m/min	92 (4層目)
ロープ長さ	φmm×m	φ8×80
ブーム起こし速度	sec/度	11.7/-1~78°
ブーム伸ばし速度	sec/m	21.0/7.24
旋回速度	min ⁻¹ {rpm}	2.1{2.1}
走行速度 (1速/2速)	km/h	2.6/5.3
エンジン	型式	いすゞ 4LE2XDPC
	種類	ターボ付直接噴射式ディーゼル
	定格出力 kW/min ⁻¹ {PS/rpm}	41/2,000{56/2,000}
燃料タンク容量	ℓ	95
油圧作動油	ℓ	全量83 (タンク内油量50)
運転質量	kg	8,830*
シュー幅	mm	450
接地圧	kPa{kgf/cm ² }	42.0{0.42}* ^①

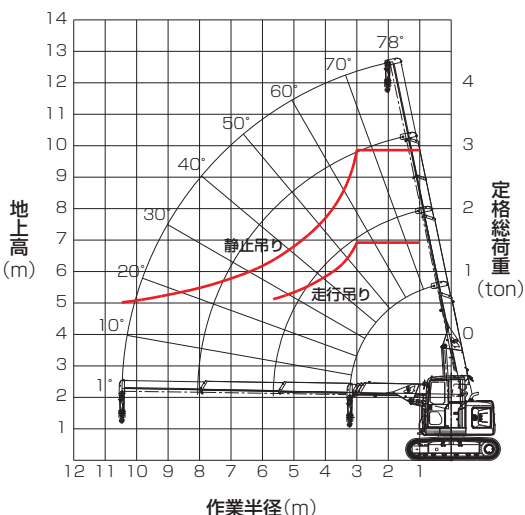
単位は国際単位系のSI単位表示で「{」内は従来表示です。

*数値はMT/バッド装着の値です。

■主なオプション装備品

- 後方確認カメラ、走行/旋回アラーム、後方作業灯を設定
- 遠隔管理の稼働機管理システム「MERIT」

■作動範囲・定格総荷重曲線図



■定格総荷重表 (単位:kg)

ワイヤー 4本掛け	1段ブーム		2段ブーム		3段ブーム		4段ブーム	
	静止吊り	走行吊り	静止吊り	走行吊り	静止吊り	走行吊り	静止吊り	走行吊り
作業半径(mm)	3.56mブーム		5.99mブーム		8.40mブーム		10.80mブーム	
1.00	2,930	1,460						
1.50	2,930	1,460	2,930	1,460				
2.00	2,930	1,460	2,930	1,460	2,700	—		
2.50	2,930	1,460	2,930	1,460	2,700	—	2,030	—
3.00	2,930	1,460	2,570	1,280	2,350	—	2,030	—
3.50	2,370kg/3.22m	1,180kg/3.22m	2,210	1,100	2,100	—	1,870	—
4.00			1,850	920	1,850	—	1,720	—
4.50			1,560	780	1,600	—	1,560	—
5.00			1,340	670	1,380	—	1,400	—
6.00			1,130kg/5.66m	560kg/5.66m	1,080	—	1,090	—
7.00					870	—	890	—
8.00					720	—	740	—
9.00					710kg/8.06m	—	630	—
10.00							540	—
11.00							510kg/10.47m	—

〈走行吊り時の注意〉

- 走行時の吊り上げ荷重は、静止状態で吊り上げたのちに水平堅土上で走行できる荷重です。この場合、吊り荷が振れないように地面近くに荷を保持し、かつ急発進・急停止・スピンターン等の操作は行わないでください。
- 走行吊りの前にモーメントリミッターは、走行吊りにスイッチを切り替えてください。
- 走行吊り中に、荷の巻上・巻下やジブの起伏・伸縮・旋回等のクレーン操作は行わないでください。
- 走行吊り中の速度は、1.4km/h (1速のみ) 以下にしてください。

〈注〉

- ①作業半径とは、クレーン旋回中心より吊り上げ荷重の重心までの水平距離をいいます。
- ②定格総荷重は、水平堅土上における転倒荷重の78%以内で、フックブロック、玉掛用ワイヤロープ、その他巻上用付属品の質量を含んだ値です。
- ③定格総荷重を吊り上げる場合でも、風の影響、地盤の状態、作業速度、その他安全作業に有害と思われる状況に応じて、オペレータは荷重の軽減、作業速度の低減など適切な判断をする責任があります。
- ④表中の空欄の箇所では作業を行うことはできません。
- ⑤実際に吊り上げ得る荷重は、定格総荷重から「フック+玉掛用ワイヤロープ等の吊り具」の質量を差し引いた値になります。
フック質量:31kg (2.93t吊り/4本掛け) 本機のワイヤ掛数の設定は、4本掛けのみです。2本掛け、1本掛けの設定はありません。

- 製品写真にはオプション/装備品が含まれている場合があります。
- 本カタログで使用する標準「KOBELCO」は、株式会社神戸製鋼所の登録商標です。また、当社商品名、サービス名およびロゴマークは、コベルコ建機株式会社の商標または登録商標です。その他の会社名やロゴマーク、商品名、サービス名は、各社の商標、登録商標もしくは商号です。
- このクレーンの運転には「小型移動クレーン運転技能講習」が、また玉掛け作業には「玉掛け技能講習」の修了証が必要です。詳しくは最寄りの営業所かコベルコ教習所へお問い合わせください。

コベルコ教習所のモバイルサイト



コベルコ建機株式会社

www.kobelco-kenki.co.jp

東京本社/〒141-8626 東京都品川区東五反田2-17-1 ☎03-5789-2111

東日本コベルコ建機(株) 〒272-0002 千葉県市川市二保新町17 ☎047-328-7111

北海道支社 ☎011-788-2382 北東北支社 ☎019-637-0444 南東北支社 ☎0223-24-1141

南関東支社 ☎047-328-2322 北関東支社 ☎048-794-3323 信越支社 ☎025-259-3711

西日本コベルコ建機(株) 〒660-0086 兵庫県尼崎市九島町46番地の1 ☎06-6414-2100

中部支社 ☎052-603-1201 関西支社 ☎06-6414-2108

中・四国支社 ☎082-810-3660 九州支社 ☎092-410-3030

■お問い合わせは……